

正しい分別を

しつかりとお願いします

「3度目は無いように皆さんにも協力して欲しい」と渡辺所長(たつみ町)



事故当日、操作室で監視作業をしていた渡辺所長にお話を伺いました。

——事故の時の状況を教えてください。

5月5日は、いつも通り始業点検のあと破砕処理運転を開始しました。

間もなく、突然の大きな爆発音と共に供給コンベアの上から爆風が吹き上がり、煙が見えたんです。(私は)初めてのことでしたから、本当に驚きました。厚い鉄板のダクトに、大きな穴が開いてしまったのを見て「まさか」と思いましたよ。

爆発が起こった付近は、普段は通常立ち入り禁止にしていますが、時折、コンベアの中で引っ掛かってしまったブルーシートやカーペットなどを取り除く作業をすることがあります。あの

時、誰もいなかったから良かったものの、作業中だったらと思うとゾッとしましたね。

6月16日は、一瞬の爆音のあと炎が立ち上ったんです。火は、散水装置で間もなく消火しましたが、すぐに消防署に連絡して、警察官や環境課の職員も立ち会いのもと内部を確認しました。

——原因は何だったんですか。

2回とも、はっきりとした原因は確定出来ませんでした。ガスライターの補充用ボンベや殺虫剤の缶など、爆発の可能性があるものが入り込んでいましたね。

——作業には支障が出ていませんか。

破損した設備は応急処置をして、今は通常運転をしています。

でも、事故が続いたことで、以前のようにパッカー車が運んできたごみを直接「受け入れコンベア」に入れないようにしました。いったん屋外に空けて職員が混在物が無いか広げて確認してからローダーで運ぶようにしているんです。もちろん、個人で直接持ってきた物も、すべて中身を確認させてもらっています。

事故の再発を防ぐためには仕方ありませんが、手間と時間が掛かるし、廃ガラスなどでだけをする危険性もあるということを知っていただきたいと思います。

ね。

——皆さんにお願いしたいことは

カセットボンベなどは、引火や爆発する可能性があり、危険な物だという意識を持って欲しいですね。ごみに出すときは、完全にガスを抜いて、正しい分別をしつかりとお願いします。

また、2年ほど前から、運ばれてくるごみの量が徐々に増えてきています。きちんと分別していれば、そんなに多くはならないんです。1日にどれだけの量が運ばれて来るか、ぜひ見て欲しいですね。

埋立ごみに混入していた缶類(6月23日分)



未使用のカセットボンベや制汗スプレーも

粗大ごみ処理場では受け入れ出来ません

◆農業用廃プラスチック

ビニールハウスに使われる塩化ビニルフィルムや、野菜を作るときに土の表面を覆うポリエチレンフィルム(マルチシート)、肥料袋など、農業に使われた廃プラスチック類は産業廃棄物として取り扱われますので、受け入れ出来ません。

指定されている場所に持ち込み、適正に処理してください。

環境課施設管理係 ☎43-7049

◆危険な物・処理困難な物

自動車用バッテリー、プロパンガスボンベ、タイヤ、廃油、塗料、コンクリートブロック、土など

販売店または市のごみ収集許可業者に相談してください。

◆特定家庭用機器

リサイクル対象家電製品(エアコン、テレビ、冷蔵庫・冷凍庫、洗濯機・衣類乾燥機)

買い換えのときは販売店へ、それ以外は、自分で引き取り施設に運ぶか、市のごみ収集許可業者に依頼してください。

